

エコアクション21



環境経営レポート2024

(活動期間 2023年10月～2024年 9月)



ふれあう心に 生まれる信頼

2024年 11月 22日 発行

辻鐵鋼株式会社

【はじめに】

辻鐵鋼株式会社は、鉄鋼を中心にした建材製品、空調部材、防水部材等の開発・製造・販売を行うと共に、亜鉛鉄板を中心とする素材販売を行っている。企業として、全ての事業活動が地球環境問題に関わりがあるとの認識に立ち、環境保全に貢献できる事業活動を推進・継続することが、当社の社会的使命と自覚し、積極的に環境保全に取り組んでおります。全事業所において月次実績を基に定期委員会の開催により、継続的に活動を行っております。

辻鐵鋼株式会社
代表取締役社長 辻 博正

目 次	P-1
1-1 事業活動の概要	P-2
1-2 事業活動の概要	P-3
2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日	P-3
2-2 EA21推進体制	P-4
3 環境経営方針	P-5
4-1 環境活動実績(過去3年間)	P-6
4-2 環境経営目標 (全社負荷低減3年計画／事業所別21年度実績・22年度目標)	P-7
5 主な環境経営計画・実績	P-8
6 環境活動実績	P-9
7-1・2・3 環境経営計画の取組結果とその評価(各事業所)	P-10～12
8 環境関連法規への違反・訴訟の有無	P-13
9 代表者による全体の評価と見直し	P-13
10 次年度以降環境経営目標	P-14

1－1 事業活動の概要

(1) 会社概要

事業所名 辻鐵鋼株式会社
代表者 代表取締役社長 辻 博正
環境管理最高責任者
環境管理統括事務局 生産技術部 池田 潤 i-ikeda@tsuii-t.co.jp

(2) 所在地

- ①本 社 〒130-0001
東京都墨田区吾妻橋 1－1 6－1 1
TEL:03-3624-3611 FAX:03-3624-6267
- ②豊橋工場 〒441-8074
愛知県豊橋市明海町 3 3－1 4
TEL:0532-25-5921 FAX:0532-25-5926
- ③仙台工場 〒981-1523
宮城県角田市梶賀字高畑北 2 9 6－2
TEL:0224-63-4811 FAX:0224-63-4822

(3) 事業活動（＝エコアクション21認証・登録範囲）鋼板製住宅部材の加工及び販売

素材

- ・ 素材メーカーと連携しお客様ご要望を実現します
- ・ 表面処理鋼板、塗装鋼板、ステンレス鋼板
アルミ形材、ダクト材料、各種鋼材
- ・ コイル材料、スケッチ材



本 社

加工

- ・ お客様ご要望【品質・納期・コスト】を実現します
- ・ 屋根部材板金
- ・ ウレタン注入扉(片開き・折戸・引戸)
- ・ エルボ
- ・ 防水部材
- ・ 精密加工品
- ・ プラスチック成形品、加工品
- ・ 各種溶接、R曲げ
- ・ 表面処理(焼付塗装etc)
- ・ アルミ形材加工etc
- ・ 六面体商品



豊橋工場

仙台工場

1-2 事業活動の概要

(4) 環境管理責任者・事務局

	部門最高責任者	管理責任者	事務局
本 社	小松 信幸(兼務)		佐竹 千明
豊橋工場	堀 隆太(兼務)		藤江 康仁
仙台工場	阿部 幸夫	仙石 和広	横山 伸洋

(5) 事業規模 売上高・従業員・床面積

	売上高(百万) 2021.10～2022.9	売上高(百万) 2022.10～2023.9	売上高(百万) 2023.10～2024.9	従業員 数 (人)	床面積 (㎡)
本社	1,387	1,474	1,466	20	697
豊橋工場	287	235	175	24	3,149
仙台工場	342	355	258	31	2,391
合計	2,016	2,064	1,899	75	6,237

(6) 環境経営レポートの対象範囲(＝エコアクション21認証・登録範囲)

取組の対象組織： 辻鐵鋼株式会社(本社、豊橋工場、仙台工場の全組織)

取組の対象活動： 鋼板製住宅部材の加工及び販売

(7) 環境経営レポートの公表の方法

環境経営レポートを本社・工場に備え付け一般の方へHP公表します。

環境経営方針をカード化し工場全従業員に携帯させています。

2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象範囲

登録組織： 辻鐵鋼株式会社
 対象事業所： 辻鐵鋼株式会社 本 社
 辻鐵鋼株式会社 豊橋工場
 辻鐵鋼株式会社 仙台工場

(2) 環境経営レポートの対象期間

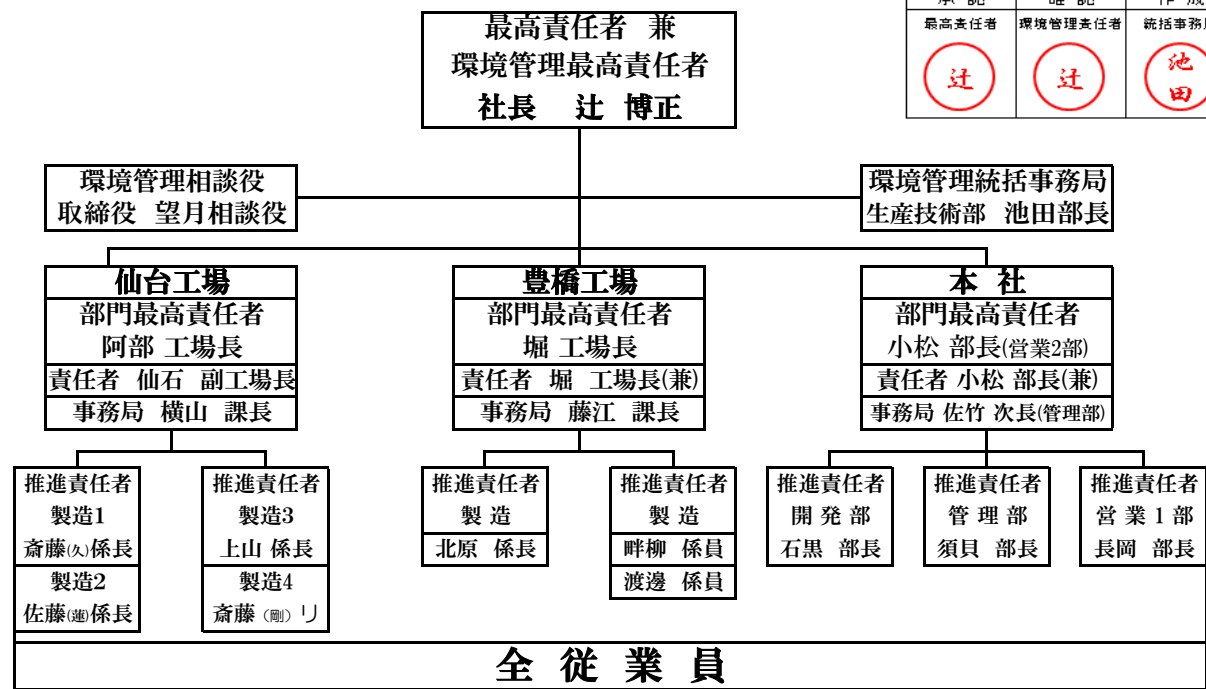
2023年 10月 1日 ～ 2024年 9月 30日(弊社事業年度)

(3) 発行日

2024年 11月 22日

2-2 E A 2 1 推 進 体 制

辻鐵鋼株式会社(全社) 環境管理委員会(運営委員会)組織図



3 環境経営方針

(環境経営理念)

当社は社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重点課題に位置付け事業活動の全領域で環境保全に配慮し、さらに良好な環境構築の実現の為に自主的・積極的な行動を図り、環境負荷の削減に取り組むことを誓約し、「美しい環境を次世代へと継承」に貢献します。

(行動方針)

当社は、事業活動が環境に何かしらの影響を与えていることを認識した上で、金属製品加工に関する製造技術・品質保証技術を踏まえ、特に、以下の環境保全活動を自主的・積極的・継続的に推進します。

1. 事業活動の領域で、安心・安全を図り、特に省資源・省エネルギー・廃棄物削減環境に配慮した事業活動を実施します。
 - (1) 環境への負荷の自己チェックの結果、各々の項目に対する改善(削減)目標管理を実施し、特に、二酸化炭素排出抑制・廃棄物排出抑制・水使用量抑制について改善目標値を設けて目標管理をします。
 - (2) 総物質投入量の把握に努め、その結果として、使用済み資源の循環的な利用(リユース)を推進し、総物質投入量の削減に努めます。
 - (3) 廃棄物最終処分量の削減に努めます。
2. 化学物質の保管・管理に努めます。
3. 品質管理・3S活動を努めます。
4. 環境に関する法令・条例と、当社が参加した協定や地域・業界などの要求事項を遵守します。
5. 得意先・仕入先に対して「省梱包」・「梱包材の再利用」を積極的に提案し推進します。
6. 自ら生産、販売提供する製品において「エコ関連商品」・「リユース素材」の積極的提案を行います。
7. 環境教育・訓練活動の実施により、全ての従業員に環境経営方針を周知すると共に本活動を当社の体質改善活動の一環と位置付け、持続可能な活動を推進します。
8. 環境経営レポートを公表し、環境経営方針を一般方にも入手できることを保証します。

制定日:2008年 4月 3日
改定日:2009年 10月 1日
改定日:2010年 3月 1日
改定日:2011年 4月 1日
改定日:2015年 3月 31日
改定日:2018年 4月 1日
改定日:2019年 12月 2日

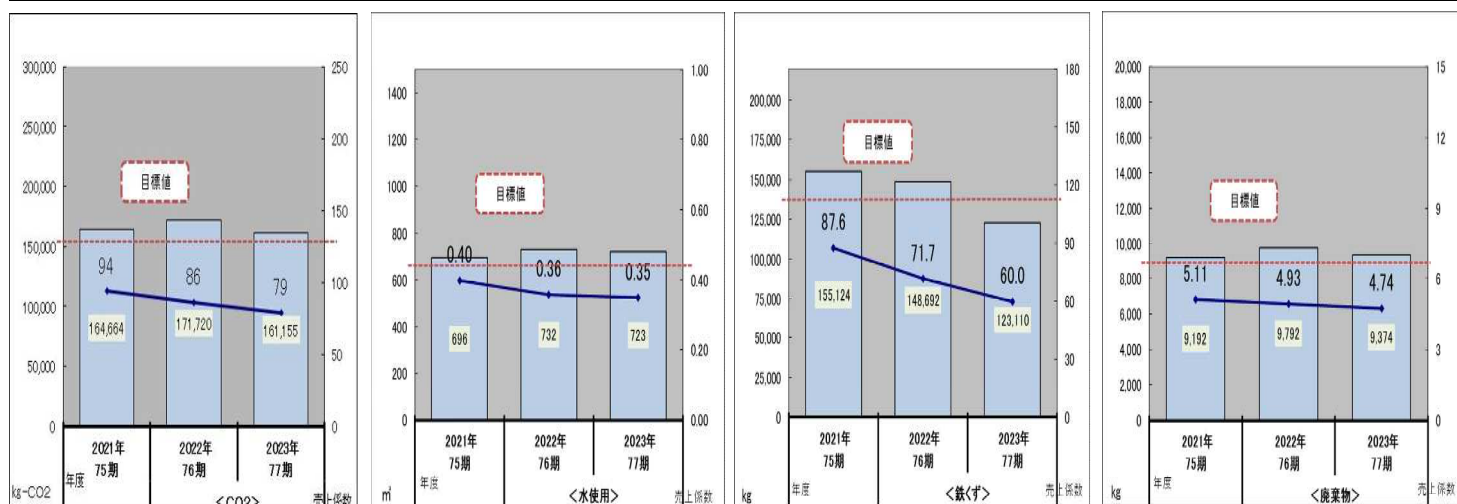
辻鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

4-1 環境活動実績 (過去3年間)

<全 社>

年 次			2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	164,664	171,720	161,155
水使用量	上水道使用量	m ³	696	732	723
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	155,124	148,692	123,110
	廃棄物排出量	kg	9,192	9,792	9,374
	段ボール排出量	kg	3,948	3,552	3,559
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好



<本 社>

年 次			2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	48,252	49,524	47,470
水使用量	上水道使用量	m ³	108	96	113
廃棄物発生量	廃棄物排出量	kg	540	696	858
	段ボール排出量	kg	120	228	202

<豊橋工場>

二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	44,952	43,452	39,147
水使用量	上水道使用量	m ³	336	408	333
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	63,288	65,700	54,700
	廃棄物排出量	kg	5,064	5,256	5,063
	段ボール排出量	kg	1,008	648	590

<仙台工場>

二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	71,460	78,744	74,538
水使用量	上水道使用量	m ³	252	228	277
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	91,836	82,992	68,410
	(ウレタンパネル排出量)	kg	5,700	4,368	9,374
	廃棄物排出量	kg	3,588	3,840	3,453
	段ボール排出量	kg	2,820	2,676	2,767
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO₂/kWh(仙台)

4-2 環境経営目標

◆全社環境負荷低減 3年計画

年次目標(年次)			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	157,860	154,704	151,608
水使用量	上水道使用量	m ³	684	672	648
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	141,240	138,420	135,648
	廃棄物排出量	kg	9,132	8,952	8,772
	段ボール排出量	kg	3,888	3,816	3,744
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満	6,000未満	6,000未満
エコ関連改善	採用件数	件/年	3	3	3

※3年計画は固定式、見直し3年度目：下記との目標差異は各事業所の状況・施策に基づき設定

◆事業所別23年度実績・24年度目標

<本 社>

()内前年比

月次			2023年度実績	2024年度目標
二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	2,500	2,500 (100%)
	軽油使用量	L	663	696 (105%)
	ガソリン使用量	L	527	501 (95%)
	ガス使用量	m ³	4	4 (100%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,956	3,956 (100%)
水使用量	上下水道使用量	m ³	10	17 (90%)
廃棄物排出量	廃棄物排出量	kg	71	64 (90%)
	段ボール排出量	kg	17	17 (100%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

<豊橋工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	8,270	8,270 (100%)
	軽油使用量	L	89	93 (104%)
	ガソリン使用量	L	109	90 (83%)
	灯油使用量	L	16	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,262	3,197 (98%)
水使用量	上下水道使用量	m ³	28	—
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	4,558	5,200 (114%)
	廃棄物排出量	kg	422	422 (100%)
	段ボール排出量	kg	49	49 (100%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	2	1

<仙台工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	10,210	10,720 (105%)
	ガソリン使用量	L	3	—
	灯油使用量	L	1,122	1,178 (105%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6,211	6,521 (105%)
水使用量	上水道使用量	m ³	23	24 (105%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	5,701	6,271 (110%)
	(ウレタンパネル排出量)	kg	686	617 (90%)
	廃棄物排出量	kg	288	273 (95%)
	段ボール排出量	kg	231	242 (105%)
化学物質	適正貯蔵量	L	購入管理良好	6,000未満管理
エコ関連改善	採用件数	件/年	2	1

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO₂/kWh(仙台)

5 主な環境経営計画・実績

2024年度 78期(2023.10~2024.09)

文書類作成日:2023年10月30日 文書類評価日:2024年10月10日		
承認	確認	作成
辻	辻	池田

区分	名称	対象者	目的	内容	部門	頻度	責任者	10月	11月	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	備考
全般	安全品質 エコIS	運営委員 +各当番者 管理責任者	安全維持 クレーム・社内不良 EA21活動の継続性維持 IS活動	・パトロール公表 (工場内・漏水・空調関連) ・前月活動成果の分析	本社	1回/3ヶ月 (会議週)	小松 (佐竹)		●			●	●		●			●		
				・クレーム・社内不良撲滅活動 ・IS、改善、コストダウン活動状況 ・委員からの意見等ヒアリング ・次年度の活動内容出し	豊橋工場	1回/月 (3週目)	堀田中 (藤江)	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○		
					仙台工場	1回/月 (2週目)	阿部 (横山)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
					本社	1回/年 以上	小松・池田 田中・池田		●			●			○			○		
一般教育	勉強会	全従業員	環境・品質・生産性向上 一般的な環境に対する自覚向上 IS発表会による生産性向上	・前年の活動実績公表 ・今年度の活動目標 内容公表 ・生産性向上効果発表	豊橋工場	1回/年 以上	阿部・池田	●			●				●			●		
一般教育	防災訓練	全従業員	緊急事態発生時適切対応	・緊急時マニュアルに基づく訓練 ・防災用具の取り扱い等 ・漏洩訓練	本社	1回/年	佐竹													
					豊橋工場	1回/年	田中				●									
専門教育	講習会	選任者	安全・技能向上	・クレーン・玉掛け・フォークなど ・環境測定 ・各種研修等	本社	2回/年 以上	佐竹		●						●					
					豊橋工場	2回/年 以上	田中		●					●	●					
定期点検	漏水 パトロール	事務局	環境維持	・消化施設、各配管、手洗い、トイレ等点検(別点検表)	本社	1回/月	佐竹		●		●			●	●	●	●	●	●	
					豊橋工場	1回/月	藤江	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	クレーン 年次検査 月次点検	選任者	安全・法規	・点検チェック(別点検表)	本社	1回/月	佐藤	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
					豊橋工場	1回/月	藤江	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	フォークリフト 年次検査 月次点検	選任者	安全・法規	・点検チェック(別点検表)	本社	1回/月	佐竹	◆	●	◆	●	●	●	●	●	●	●	●	●	低稼働未
					豊橋工場	1回/月	藤江	◆	●	◆	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	プレス の自主検査	選任者	安全維持・法規	・機械の安全動作状況確認等	本社	1回/年	藤江		●											
					豊橋工場	1回/年	阿部													
	空調機器 簡易点検	事務局	環境維持・法規	・点検チェック(別点検表)	本社	4回/年	佐竹		●		●			●				●		
					豊橋工場	4回/年	藤江	●			●			●				●		
	消火設備・消火器 点検	事務局	安全維持・法規	・機能チェック、有効期限確認等	本社	1回/年	佐竹				●								■	
					豊橋工場	2回/年	藤江			●					●					
	エアータンク 自主検査	事務局	安全維持・法規	・器具の機能維持、安全性確認等	本社	1回/年	藤江							●					●	
					豊橋工場	1回/年	横山							●						
	浄化槽法定検査 浄化槽保守点検	事務担当者	衛生維持・法規	・事務所/寮の衛生検査・対応	本社	1回/年	坂神												●	
					豊橋工場	1回/月	坂神	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ボイラー点検	事務局	安全維持	・器具の機能維持、安全性確認等	本社	1回/年	横山											●	●	
					豊橋工場	2回/年	藤江			○						○				生産なし
届出	労使協定届け 年間カレンダー提出	管理責任者	安全衛生維持・法規	・労働基準関連書類提出	本社	1回/年	佐竹						●							
					豊橋工場	1回/年	田中													
	産業廃棄物委託 契約更新 (自動更新)	管理責任者	適正管理維持・法規	・適正業者との廃棄物契約締結	本社	自動更新	佐竹					■								
					豊橋工場	自動更新	田中						■							
	産業廃棄物 管理表届出	事務局	適正管理維持・法規	・昨年度排出量提出	本社	1回/年	阿部		■											
					豊橋工場	1回/年	坂神									●				
	産業廃棄物 処理確認	管理責任者	適正管理維持・法規	・契約業者の適正処理確認	本社	1回/年	田中					●								
					豊橋工場	1回/年	阿部					●								中止
	化学物質使用量届 管理	事務局	安全衛生維持・法規	・昨年度使用量提出/購入量管理	本社	1回/年	横山							■						
					豊橋工場	1回/年	阿部													
文書類	活動記録	選任者	ガイドライン要求事項	・環境への負荷の自己チェック (皆さんの成果含)まとめ	本社	2024年 1回/年 10/15	佐竹	●												
					豊橋工場	2024年 1回/年 10/15	藤江	●												
					仙台工場	2024年 1回/年 10/15	横山	●												
				・環境への取組の自己チェック	本社	1回/年 10/23	小松	●												
					豊橋工場	1回/年 10/23	田中	●												
					仙台工場	1回/年 10/23	仙石	●												
				・資源使用量、総製品生産量/販売量算出	本社	1回/年 10/23	長岡・小松	●												
					豊橋工場	1回/年 10/23	田中	●												
					仙台工場	1回/年 10/23	阿部	●												
				・取組結果とその評価(是正・予防 処置等処理記録簿含む)	本社	2回/年 4/20 10/23	小松							4/19						
					豊橋工場	2回/年 4/20 10/23	堀・田中	●						4/19						
					仙台工場	2回/年 4/20 10/23	阿部・仙石	●						4/19						
				・環境コミュニケーション記録簿、 苦情・要望等処理記録票	本社	1回/年 10/25	小松	●												
					豊橋工場	1回/年 10/25	田中	●												
					仙台工場	1回/年 10/25	阿部	●												
				・法規制等一覧表・チェックリスト	本社	1回/年 10/25	小松・佐竹	●												
					豊橋工場	1回/年 10/25	田中・藤江	●												
					仙台工場	1回/年 10/25	仙石・横山	●												
				・代表者による全体評価・見直し	本社	1回/年 10/28	辻社長	●												
				・目標設定書、活動計画作成、等	本社	1回/年 10/29	小松	●												
					豊橋工場	1回/年 10/29	田中	●												
					仙台工場	1回/年 10/29	阿部	●												
				・活動計画等のまとめ	統括事務局	1回/年 10/29	辻社長 池田	●												
				・実施体制(組織図)の見直し	統括事務局	1回/年 10/29	池田	●												
				・環境方針(マニュアル)見直し	統括事務局	1回/年 10/29	池田	●												
				・緊急事態の準備及び対応推進	統括事務局	1回/年 10/29	池田	●												
				・各種技能講習者選出・リスト更新	統括事務局	1回/年 10/29	池田	●												
				・レポートの作成	統括事務局	1回/年 11/24	池田			11/22										
				・各部門の記録書類のチェック	統括事務局	1回/年 11/15	池田				1/10									
				・エコアクション21認証 登録審査	本社	1回/年	申込●													

保管:運営事務局

※1 計画:○ 実績:実施月に●を記す(計画通り実施した場合は計画月の○を●に変更する /部は月変更を示す) 自動更新等:■・年次点検等:◆ ※2 完了日付:J

6 環境活動実績

	管理実施項目	単位	2024年度 全社実績			本社実績		豊橋実績		仙台実績	
			(2023 10～2024 09)								
			年 間	月平均	前年比	月平均	前年比	月平均	前年比	月平均	前年比
二酸化炭素 排出量	電力使用量	kWh	251,664	20,972	100%	2,548	102%	8,357	101%	10,067	99%
	軽油使用量	L	8,736	728	97%	658	99%	70	79%		
	ガソリン使用量	L	6,768	564	88%	481	91%	76	70%	7	240%
	灯油使用量	L	14,340	1,195	106%			0	0%	1,195	106%
	ガス使用量	m³	48	4	93%	4	93%				
	二酸化炭素 排出量計	kg-CO₂	160,320	13,360	99%	3,857	97%	3,147	96%	6,356	102%
水使用量	水使用量	m³	588	49	81%	10	105%	21	76%	18	79%
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	105,960	8,830	85%			3,892	85%	4,938	87%
	廃棄物 排出量	kg	7,908	659	84%	59	83%	258	61%	342	119%
	(ウレタンパネル 排出量) 【仙台工場のみ】	kg	13,836	1,153	168%					1,153	168%
	段ボール排出量	kg	3,792	316	107%	19	115%	43	88%	254	110%
化学物質貯蔵量管理 (仙台工場のみ)	適正貯蔵量	L	6,000未満 管理良好							6,000未満 管理良好	

エコ改善関連	エコ改善関連 採用件数	実績名称	実施時期	実 績	備 考
		・仙台 トイレ節水蛇口変更	2023 11	・水使用量削減	
		・豊橋/仙台 梱包テープレス	2023 12	・廃棄物排出量削減	

※温室効果ガス排出係数(環境情報データベース)2018年度調整後排出係数:0.406(本社)・0.334(豊橋)・0.334kg-CO₂/kWh(仙台)

7-1 環境経営計画の取組結果とその評価(本社)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

本社管理責任者記入

文書類作定日:2023年10月30日		
文書類作成日:2024年10月25日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	

環境目標			取組結果及び評価			
			進捗	上期 10～3月	進捗	下期/通期 ～9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理	△	目標:100% → 106%(売上比:111%)	○	【下期】目標:100%→98%(売上比:97%)
		②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃)		単月比較で 10月:130%(売上比:138%)、11月:117%(売上比:123%)を除けば概ね良好。		【通期】目標:100%→102%(売上比:104%)
		③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF		上記 状況確認を含め、動向注視。		通期としては、目標値を僅かに上回ったが、概ね良好と思われる。期初(10、11月と4月)に大きく増加の傾向が見受けられる。
		④就業時プレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る				
		⑤空調機器の簡易点検				
	化石燃料使用量	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進	○	(ガス使用量)目標:100% → 89%(売上比:89%)	○	ガソリン・軽油・ガス共に通期目標にて達成。
		②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける		(軽油・ガソリン量)目標:100% → 88%(売上比:93%)		
		③湯沸し器は出来るだけ10～4月使用 & 電気給湯類使用促進		良好。継続して活動。		

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

化石燃料については 目標値達成となったが、購入電力使用量については上期成果を受け更なる節電配慮の効果も功を奏し若干の上回りで抑えられた。
引き続き 注視の上、都度対応を試みる。

水使用量抑制	水使用量	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない	△	目標:90% → 109%(売上比:117%) 単月比較で 10月:116%(売上比:122%) 上記 状況確認を含め、動向注視。	△	【下期】目標:90%→102%(売上比:99%) 【通期】目標:90%→105%(売上比:107%) 2ヶ台での目標値を上回る。
		②水漏れを発見したら所属長へ連絡～修理手配				
		③漏水バトリール実施				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

通期では 目標値に近づけられたが、人員増の影響もあり 手洗い水量が影響した可能性があり。
引き続き 注視の上、状況に応じ対策を検討。

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)	△	(ダンボール処分量)目標:100% → 115%(売上比:125%) 単月比較で11,12月,3月で目標を大幅に増加。 状況確認の上、下期へ展開。	△	【下期】目標:100%→114%(売上比:107%) 【通期】目標:100%→115%(売上比:117%) ダンボール処理量については目標値を上回る。
		②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う				
		③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する				
		④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

ダンボール処理量が 目標値に対し 約10%程度増加の傾向がある。
発生要因も調査し可能な限り抑制しつつ、再利用化による検討もしたい。

省資源 (グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収～分別処理を行う	○	WEB会議等を活用、プロジェクター活用により、配布物を原則廃止。引き続き、推進活動を行う。	○	上期同様 配布物の原則廃止で継続。 引き続き、活動する。
	②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー＆プロジェクター推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

良好なため、引き続き活動する。

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース 品採用推進	新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する	○	顧客への展開を強化していく。 →省梱包化 提案等。	○	顧客への展開を強化していく。 →省梱包化 提案等。
	梱包資材のリユース化推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

良好なため、引き続き活動する。

エコ関連改善 (業務・IS・提案より)	活動状況	△	下期は、(本社での)提案制度への積極参加を促し、 テーマUPにつなげる。	△	下期も(本社での)提案制度への積極参加について 広められず、低調。
	改善後の継続状況等				
	改善提案状況				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

提案活動の重要性をアピールの上、未提案を無くす活動に注力。(半期ごとの1テーマ/人 提案活動 などを推進)

是正・予防処置等処理記録簿	○	該当事項なし		該当事項なし
---------------	---	--------	--	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	本社として毎期設定している数値に対し、単純活動での目標クリアが困難になってきている様に感じます。 来期からは、各テーマに於いてメリハリをつけ 特に未達成テーマに対する、検証 及び 目標値設定を見直していきたい。→テーマの絞り込みも 提案活動については、参加に対する環境づくりを模索し、次年度 強化を検討。
-----------------------------	--

※進捗の評価:○良好・△一部未達・×未達

7-2 環境経営計画の取組結果とその評価(豊橋)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

豊橋管理責任者記入

文書類作成日: 2023年10月30日		
文書類作成日: 2024年10月21日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	環境管理責任者
堀	堀	堀

環境目標		施策	取組結果及び評価			
			進捗	上期 10~3月	進捗	下期/通期 ~9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理	○	目標100%→前年度比92%(売上比140%) 仕事量減(含む残業減少)、デマンド監視、起動電力の削減施策(=15分以上不使用時の電源OFF)の徹底	○	目標100% 下期:108% 通期:101% 作業環境改善のためスポットクーラー2台増設した。また溶接作業の増加により、前年比101%と目標の100%には達成できず。
		②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃)				
		③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF				
		④就業時ブレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る				
		⑤空調機器の簡易点検				
	化石燃料使用量	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進	○	目標95%→前年度比81%(売上比112%) フークリフト使用は仕事量減もあり、前年比70%。特殊加工、溶接等で業社への往復増で社有車使用は増も灯油使用なしでTTLで目標	○	目標95% 通期72% 仕事量が予定より増えず 目標95%に対し72%となった
		②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける				
		③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&電気給湯器使用促進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

現在使用停止中

水使用量抑制	水使用量	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない	○	目標--%→前年度比:76%(売上比113%) 昨年度漏水パトロールにより発見された漏水箇所修理の効果。漏水パトロールは継続実施中。	○	目標--% 通期76% 漏水パトロール実施。今年は漏水箇所無し。
		②水漏れを発見したら所属長へ連絡〜修理手配				
		③漏水パトロール実施				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)	○	産廃 目標100%→前年度比0% ダンボール 目標100%→前年度比85%(129%) 仕事量減もあるが製品の変化、および昨年実施のパレット納入化効果により、離形紙、袋、ダンボール等の排出量削減で、上期は廃棄コスト回収はなし	○	一般廃棄物 目標100% - 通期61% ダンボール 目標100% - 通期88% 施策の継続や仕事量の減少により廃棄物量減少
		②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う				
		③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する				
		④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

省資源(グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収〜分別処理を行う	○	裏紙使用の徹底、会議資料配布推進(プロジェクト投影)	○	施策継続実施中
	②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース品採用推進	新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する	○	緩衝材としてのダンボール/養生材の再利用、断熱材通い箱納入の継続	○	施策継続実施中
	梱包資材のリユース化推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

エコ関連改善(業務・IS・提案より)	活動状況	○	3ヶ月に1回報告会開催、および昨年に続いて豊橋工場の改善提案の連続提出継続中	○	施策継続実施中
	改善後の継続状況等				
	改善提案状況				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

是正・予防処置等処理記録簿	○	該当事項なし	該当事項なし
---------------	---	--------	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて

78期はSPSの仕様変更、ソーユウの着工件数減少により生産数は大幅に減少した。生産数を回復する為の施策である東亜部材の取り込みも予定より大幅に遅れている状況。エコ活動の実績は生産数減少により前年比として見れば各項大幅に削減出来ているが状況だが、購入電力量は101%と微増している。酷暑対策のためエアコンは2台増設しているが、不必要な時期(気温)での使用や、人がいない個所でのつけっぱなしもあったため、79期はこのあたりを改善する必要がある。79期は生産数も増える見込みでなので仕事量に応じた適切な目標を設定して、各項目、目標達成に向け施策を実施していく。

※進捗の評価: ○良好・△一部未達・×未達

7-3 環境経営計画の取組結果とその評価(仙台)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

仙台管理責任者記入

文書類作成日:2023年10月30日		
文書類作成日:2024年10月18日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	環境管理責任者

環境目標			取組結果及び評価			
			進捗	上期 10～3月	進捗	下期/通期 ～9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理	○	目標105%に対し96%で達成 ①照明消灯・デマンド管理は実施 ②暖房24℃基本 寒暖の差により調整有り ③継続中 ④継続中 ⑤継続中 ①～⑤運営委員会で周知徹底	○	目標105%に対し99%で達成 ①照明消灯・デマンド管理は実施 ②暖房24℃基本 寒暖の差により調整有り ③継続中 ④継続中 ⑤継続中 来期蛍光灯廃止⇒工場LED化予定
		②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃)				
		③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF				
		④就業時ブレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る				
		⑤空調機器の簡易点検				
	化石燃料使用量	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進	○	①②③継続中 注入工程使用回数改善により目標105%に対し105%で達成中	×	上期は改善効果がみられたが、生産増により注入回数が上がり目標105%に対し107%で未達
②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける						
③湯沸かし器は出来るだけ10～4月使用&電気給湯類使用促進						
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 電力は以前より通常デマンドもさがり、又電力使用量も目標を達成することが出来た。今期は新規の設備での作業開始となったが思ったより電力の使用が少なく、ライン頭上の一部蛍光灯をLEDにした事で点灯時間も長かったが良い数字となった。 注入プレスの循環温水を作る為のボイラー可動が思ったよりも長かった為に目標より2%未達成に終わった。						
水使用量抑制	水使用量	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない	○	①②③継続中 目標105%に対し68% 漏水復旧工事完了で大きく達成 運営委員会にて周知徹底	○	目標105%に対し79% 漏水復旧工事完了で大きく達成
		②水漏れを発見したら所属長へ連絡～修理手配				
		③漏水バトロール実施				
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 目標に対し大幅に達成したので、日々の水の出しっぱなし等にも気を付け、来期も もし漏水等があれば早く発見するのと、日々の節水意識を持って行くようにする。						
廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)	○	①表示物は都度交換実施中 ②運営委員会を月1回継続中 ③・極力リサイクル化を継続中。 ・協力会社へバレット引取依頼。 ④継続中	△	・ウレタンパネル168%未達 ・鉄端材89%達成 ・鉄不良48%達成 ・産廃119%未達 ・ダンボール類 110%で未達 ※・不燃戻却品・新壁パネル積載不具合品によるウレタンパネル未達 ※生産量増により副資材が増えた事が産廃、ダンボール類未達と思われる
		②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う				
		③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する				
		④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する				
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 生産増での材料スタイルを変更して出た養生材が段ボール廃棄量を上げてしまったのは仕方が無い。 ウレタンパネルでは新規製品のウレタン不良が多数発生した部分とウレタン原料を冷やすクーラーが破損して原液温度バランスが崩れ不良発生と未達成になり残念な結果になりました。 クーラーは来期に新規に入れる予定にしています。不燃パネルはお客様の仕様変更があり廃棄で仕方がなかった。						
省資源 (グリーン購入含む)		①作業指示書・両面コピー紙の回収～分別処理を行う	○	①継続中 ②継続中	○	①継続中 ②継続中
		②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進				
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 地球環境を考え今後もグリーン購入を進めて行く。						
環境配慮型製品・資材省梱包・リユース品採用推進		新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する	—	新商品開発時に極力工数削減出来る様に技術部に提案実施。	—	新商品開発時に極力工数削減出来る様に技術部に提案実施。
		梱包資材のリユース化推進				
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 今後も新規の製品を梱包する場合、省梱包化を進めコストも抑えて行く。						
エコ関連改善 (業務・IS・提案より)	活動状況	○	IS活動発表会 年4回継続中。2回目5月開催 <活動状況> ・改善後の継続は概ねOK ・社内改善提案10件	○	IS活動最終発表会10/18開催予定 改善提案状況は改善提案は出ているが以前より減っている。 上期10件下期7件合計17件	
	改善後の継続状況等					
	改善提案状況					
環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】 —						

是正・予防処置等処理記録簿	○	該当事項なし	○	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	今期は目標に対して良い数字だったと思います。 来期は工場内外でまだ蛍光灯部分がある箇所LED化に変更する予定で電力量を削減したい。 灯油等は生産量が増加するので増える量なるべく押さえる様に。 廃棄物関係は重量の重い材料を使用する製品の生産が増加するので、社内不良と歩留まりを良くして行きたい。
-----------------------------	---

※進捗の評価:○良好・△一部未達・×未達

8 環境関連法規への違反・訴訟の有無

(1) 適用される主な環境関連法規等

主な適用法規	要求事項	遵守状況
消防法	危険物の保管基準遵守、消防設備点検、避難訓練	遵 守
自治体火災予防条例		
労働安全衛生法	健康診断受診推進、各技能講習受審推進、法定自主点検遵守	遵 守
労働施策総合推進法	職場における「パワーハラスメント」	遵 守
有機則・特化則	作業主任者選任、作業環境測定、掲示、特殊健康診断、記録保管、漏えい防止の管理	遵 守
廃棄物処理法	廃棄物の保管基準、委託基準の厳守、マニフェストの適正運用管理	遵 守
廃棄物処理法 東京都廃棄物条例 愛知県廃棄物適正処理促進条例 宮城県産業廃棄物適正化条例	廃棄物管理者責任者の設置、委託先の産廃の収集・運搬資格、書面による委託契約、処分能力状況確認、確認記録の保持、管理票交付者の知事への報告の義務、等	遵 守
下水道法	排除基準の遵守	遵 守
フロン排出抑制法	冷媒の適正管理、簡易点検（7.5kw以下）廃棄時管理	遵 守
P R T R法	排出・移動量の管理遵守	遵 守
家電リサイクル法	廃棄時の適生な引渡し	遵 守
小型家電リサイクル法	分別して認定業者へ適正な引渡し	遵 守
自動車リサイクル法	廃棄車両の引取業者へ適正な引渡し	遵 守
道路交通法	運転管理者設置、運転日報、アルコールチェック、記録の保持	遵 守

(2) 違反・訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年に引き続き、製造会社として、SDG'sの目標12のつくる責任に焦点をあてて、地球環境への配慮と、会社としての利益をバランスよく事業展開していくと考えながら対応ができたと思う。今期は、特に、仙台工場の仕事量が増えたが、本社のエコ担当者と仙台工場の幹部達がうまく連携してくれて、常にエコに気を使ってくれたことが、良い結果に繋がったと思う。

次年度についても、引き続き、SDG'sの目標12のつくる責任に焦点を当てて、地球環境への配慮と、会社としての利益をバランスよく事業展開していければと思っています。

その意味でも、引き続き、本社のエコ担当者を中心に、全社でエコ活動を活発に行い、社員全員に対して、SDG'sの基本コンセプトを徹底して、工場も、本社もしっかりと対応していきたいと思っています。勿論、企業としては、収益を上げることと、エコ活動を活発化することを、バランス良くやることも、企業存続の為には必要であるので、全社で良く議論をしながら、良い方向に進めていけたらと考えています。そうすることで、環境対応をちゃんとしている企業として、取引先の会社からも、評価を得られて良好な関係が築けるのではないかと考えております。

2024年10月29日
辻 鐵鋼株式会社
代表取締役社長 辻 博正

10 次年度以降環境経営目標

◆全社環境負荷低減 3年計画

年 次 目 標 (年 次)			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	192,720	188,868	185,088
水使用量	上水道使用量	m ³	588	576	522
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	105,960	102,780	99,696
	廃棄物排出量	kg	7,908	7,668	7,440
	段ボール排出量	kg	3,792	3,684	3,564
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満	6,000未満	6,000未満
エコ関連改善	採用件数	件/年	3	4	5

※1:3年計画は固定式、見直し3年度目:下記との目標差異は各事業所の状況・施策に基づき設定

◆事業所別24年度実績・25年度目標

<本 社>

()内前年比

月 次			2024年度実績	2025年度目標
二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	2,548	2,548 (100%)
	軽油使用量	L	658	658 (100%)
	ガソリン使用量	L	481	495 (103%)
	ガス使用量	m ³	4	4 (100%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,857	3,745 (100%)※2
水使用量	上下水道使用量	m ³	10	10 (100%)
廃棄物排出量	廃棄物排出量	kg	59	59 (100%)
	段ボール排出量	kg	19	18 (95%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

<豊橋工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	8,357	8,357 (100%)
	軽油使用量	L	70	74 (105%)
	ガソリン使用量	L	76	76 (100%)
	灯油使用量	L	0	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,147	4,083 (100%)※2
水使用量	上下水道使用量	m ³	21	22 (105%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	3,892	4,087 (105%)
	廃棄物排出量	kg	258	258 (100%)
	段ボール排出量	kg	43	43 (100%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	0	1

<仙台工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	10,067	11,073 (110%)
	ガソリン使用量	L	7	—
	灯油使用量	L	1,195	1,314 (110%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6,356	8,232 (105%)※2
水使用量	上水道使用量	m ³	18	20 (110%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	4,938	5,431 (110%)
	(ウレタンパネル排出量)	kg	1,153	1,268 (110%)
	廃棄物排出量	kg	342	376 (110%)
	段ボール排出量	kg	254	279 (110%)
化学物質	適正貯蔵量	L	購入管理良好	6,000未満管理
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

※2:電気事業者別排出係数変更2025年度より変更(東京ガス:0.406→0.362/日本テクノ:0.334→0.446Kg-Co2/kwh)